

事務局資料2

これからのデザイン政策を考える研究会

2023年1月19日

目次 デザイン政策

本研究会の課題と論点案	3
これまでのデザイン政策の課題と本研究会の論点案	4
世界のデザインが向かう2つの大きな方向性	6
本研究会における5つの論点案	7

本研究会の課題と論点案

これまでのデザイン政策の課題と本研究会の論点案

これまでのデザイン政策の課題

課題①

経済中心の日本のデザイン政策

課題②

デザインをどう評価し、どう伝えるか

課題③

地域におけるデザイン活用をどう進めるか

課題④

これからのデザイナーのあり方

課題⑤

教養としてのデザイン教育のあり方

本研究における 5 つの論点案

開拓

社会の幅広い領域で進化を生み出す

戦略

経営や戦略における実践と連携

資源

デザインの営みを顕在化し、統合し、
国内外に発信する

人材

デザインを活かす教育と環境形成

地域

まちの未来を育むデザインのあり方

本研究会における5つの論点案

太刀川英輔さん



開拓

社会の幅広い領域で
進化を生み出す

持続可能な社会・環境の未来を見据えて、産業支援中心のこれまでのデザイン政策を振り返り、これからデザイン政策のあり方を多方面から検討する。企業経営から公共領域までデザインの力を幅広く活用し、創造性を喚起し、前向きな変革を導くあり方を考える。

田川欣哉さん



戦略

経営や戦略における実践と
連携

産業および文化における固有の蓄積を活かした「ジャパンデザイン」のリーダーシップ確立に向けた道筋を検討する。また、グローバルの潮流を正確に理解し、デザインの経営や政策における実践手法および国際連携を構想する人材や組織のあり方について検討する。

齋藤精一さん



資源

デザインの営みを顕在化し、
統合し、国内外に発信する

さまざまな地域と幅広い領域で蓄積されてきたデザインの営みを掘り起こし、統合し、ジャパンデザインの資源として歴史的・体系的に示す。その資源を活用し、国内外に発信していく体制を設計する。この循環により新たに生み出される文化的・社会的・産業的価値を描き出す。

柴田文江さん



人材

デザインを活かす
教育と環境形成

社会のあらゆる側面でデザインの可能性を活かすには、その価値を理解し的確に活用できる人材の裾野を広げ、そのための環境を整えるデザインの民主化が必要である。同時に、日本のデザイン文化の求心力を高め、その進化に対応する高度デザイン人材の育成も引き続き求められる。

大西麻貴さん



地域

まちの未来を育む
デザインのあり方

地域に固有の風土や文化に目を向け、暮らしや産業を創造的に生み出し、あるいは編み直すコミュニティのあり方をデザインの視点から検討する。また、立場や経験を超えて有機的な相互作用を生み出す「場」のあり方を通じて、コミュニティの活力の維持・発展の可能性を追求する。

世界のデザインが向かう2つの大きな方向性

Design as Economy

デザインによって社会と
ビジネスを進化させる
経済のあり方を変えるデザイン

Design as Culture

デザインの裾野を広げ
担い手をエンパワーする
文化としてのデザイン

本研究会における5つの論点案

Design as Economy

太刀川英輔さん



開拓

社会の幅広い領域で
進化を生み出す

田川欣哉さん



戦略

経営や戦略における
実践と連携

齋藤精一さん



Design as Culture

柴田文江さん



大西麻貴さん



人材

デザインを活かす
教育と環境形成

地域

まちの未来を育む
デザインのあり方

持続可能な社会・環境の未来を見据えて、産業支援中心のこれまでのデザイン政策を振り返り、これからの中のデザイン政策のあり方を多方面から検討する。企業経営から公共領域までデザインの力を幅広く活用し、創造性を喚起し、前向きな変革を導くあり方を考える。

産業および文化における固有の蓄積を活かした「ジャパンデザイン」のリーダーシップ確立に向けた道筋を検討する。また、グローバルの潮流を正確に理解し、デザインの経営や政策における実践手法および国際連携を構想する人材や組織のあり方について検討する。

さまざまな地域と幅広い領域で蓄積してきたデザインの蓄みを掘り起こし、統合し、ジャパンデザインの資源として歴史的・体系的に示す。その資源を活用し、国内外に発信していく体制を設計する。この循環により新たに生み出される文化的・社会的・産業的価値を描き出す。

社会のあらゆる側面でデザインの可能性を活かすには、その価値を理解し的確に活用できる人材の裾野を広げ、そのための環境を整えるデザインの民主化が必要である。同時に、日本のデザイン文化の求心力を高め、その進化に対応する高度デザイン人材の育成も引き続き求められる。

地域に固有の風土や文化に目を向け、暮らしや産業を創造的に生み出し、あるいは編み直すコミュニティのあり方をデザインの視点から検討する。また、立場や経験を超えて有機的な相互作用を生み出す「場」のあり方を通じて、コミュニティの活力の維持・発展の可能性を追求する。